

通訳案内士の企業面接会

10月02日 12時42分



北海道を訪れる外国人観光客が増加する中、外国語で観光地を案内できる資格を持つ通訳案内士が道内の観光関係企業と面接するイベントが札幌市で開かれました。

通訳案内士は外国語で観光地を案内できる国が認定する資格の1つですが、ガイドとして働く機会が少ないことが課題となっています。

このため、北海道観光振興機構は通訳案内士と道内にある観光関係企業のマッチングイベントを札幌市中央区で開催し、通訳案内士27人と企業11社が参加しました。

会場では企業ごとにブースが設けられ、訪れた通訳案内士が5分程度の面接を受け専門の語学は何かや外国人にスキーを教えられるかなどの質問に答えていました。

参加した40代の通訳案内士の女性は「企業と直接話ができるイベントは、とてもありがたいと思う」と話しました。

主催した北海道観光振興機構の梶川郁子さんは「外国人観光客を呼び込む要となる通訳案内士の活躍の場を増やせるよう、今後も取り組んでいきたい」と話していました。

このイベントは、ことし12月にも行われる予定です。